

平成 21 年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	行政	題名	総合的病害虫・雑草管理（I P M）実践指標～水稲～		
[要約] 本県の水稲における総合的病害虫・雑草管理（I P M）の取組み内容を整理し、その取組みを評価できる I P M 実践指標を取りまとめた。					
キーワード	水稲	病害虫・雑草	I P M	プロジェクト推進室（特裁・有機）	

1 背景とねらい

県では、農業生産活動に伴う環境への負荷低減を図るために、病害虫や雑草の発生生態に応じた効果的・効率的な総合防除の推進を図っている。

また、国でも、病害虫・雑草の発生増加を抑えるための適切な手段を、経済性を考慮しつつ総合的に講じる「総合的病害虫・雑草管理」（Integrated Pest Management：I P M）の普及推進を図っており、その手段の一つとして I P M を実践する上で必要な農作業の工程およびその具体的な取組み内容を示した I P M 実践指標を取りまとめている。

そこで、今回は、国の I P M 実践指標を基本とし、本県の水稲栽培の実情に合わせた I P M 実践指標を取りまとめることにより、病害虫・雑草の総合防除の普及推進の資とする。

2 成果の内容

- (1) 本県の水稲における I P M 実践指標を取りまとめた。
- (2) 本県の I P M 実践指標が国の同指標と異なる主な特徴は、以下のとおりである。

ア 構成

水稲の農作業の工程順に、I P M の具体的な取組み内容を整理し（表 1）、I P M の基本となる 3 つの取組み（予防、判断、防除）および対象となる病害虫・雑草等を示している（図 1）。

イ 評価

I P M の具体的な取組み内容毎に、その実施有無についてチェックすることができる（図 1）。また、全体の取組みを振り返り、今回の取組みの評価と次回への改善点等を確認することができる（図 2）。

ウ I P M の理解促進

I P M の理解を深めるために、I P M についての簡単な説明をまとめている。

3 成果活用上の留意事項

- (1) 本指標は、国が策定したモデルを基に、本県の実情に合わせるため、県の水稲に関する技術指導資料等を参考に、現地での検討を踏まえ、作成している。
- (2) 本指標は、慣行の移植栽培を前提としている。
- (3) 本指標を活用する場合は、各地域の実情に合わせ内容等を適宜変更すること。

4 成果の活用方法等

(1) 適用地帯又は対象者等 県内全域

(2) 期待する活用効果

本県における水稲の総合的病害虫・雑草管理（I P M）の推進の資となる。

5 当該事項に係る試験研究課題

H16-18 安全安心な水稲栽培技術の総合実証（国庫補助、H17-20）

6 研究担当者 細川健、佐藤千穂子

7 参考資料・文献

- (1) 総合的病害虫・雑草管理（I P M）実践指針、I P M 実践指標モデル（水稲）（平成 17 年 9 月 30 日 17 消安第 6260 号 消費・安全局長通知）
- (2) 平成 20 年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針（岩手県）

- (3) 平成19年度稲作指導指針（岩手県）
- (4) 病虫害発生予察情報（岩手県病虫害防除所）
- (5) 総合的病虫害・雑草管理（IPM）実践指標（青森県、宮城県）

8 試験成績の概要（具体的なデータ）

表1 IPM実践指標の内容

		農作業の工程	具体的な取組み内容 (項目数)
I	圃場準備	(1) 水田およびその周辺の管理	2
II	育苗期防除	(1) 健全種子の選別	1
		(2) 種子消毒	2
		(3) 健苗の育成	4
III	移植	(1) 代かき作業	1
		(2) 移植作業	1
		(3) 移植期防除	2
IV	本田期防除	(1) 防除要否の判断	1
		(2) 紋枯病の防除	1
		(3) いもち病対策	5
		(4) 初期害虫対策	1
		(5) 斑点米カメムシ類対策	4
		(6) 雑草対策	3
V	農薬の使用全般	(1) 農薬の適正使用	7
		(2) 農薬の飛散防止対策	3
VI	その他	(1) 病虫害発生予察情報等の確認	1
		(2) 研修会等への参加	1
		(3) 作業日誌	1

II 育苗期防除

(1)健全種子の選別

No	IPMの 基本	対象	項目	チェック欄
3	予防	病害全般	播種するすべての種子を更新している。	<input type="checkbox"/>

実施：○、
未実施：×

図1 IPMの具体的な取組み内容と実施有無のチェック例

VII 評価

(1)チェック欄に「○」がついた項目で、今年、やって良かったと思う項目はどれですか？

No.	理由
例：27	例：除草剤を適期に散布できたので、雑草の発生が少なかった。

図2 IPMの取組み状況の全体確認例